

# 学 習 日 誌

6月27日（金）		講 師	6年 小山 久仁子さん、7年 岡本 忠則さん 5年 田中 恵さん、8年 山本 愛子さん
出 席 者 数	69名	記 録 者	2年 3班 内田 美保子
講 座 名		ジャンル別講座「うたおう会 よもやま話 第1話」	
プログラム担当者		趣味教養グループ1	
時 間・場 所		13:30～15:30、第1集会室にて	

## 【学習内容】

健康増進を目標に掲げる「歌おう会」の皆さんによる講座です。

まず健康コラムで、「大声で歌う」「笑う」「誰かのために生きる」ことが私たちのこころとからだの健康を支えてくれるということを、科学的な根拠を示して解説していただきました。

なるほど、と「歌」の効能を見直したところで、さあ歌の世界へ・・・

取り上げられたのは4つの昭和の名曲です。

「下町の太陽」 講師 6年 小山 久仁子さん、

「北の旅人」 講師 7年 岡本 忠則さん

「岸壁の母」 講師 5年 田中 恵さん

「長崎の鐘」 講師 8年 山本 愛子さん

※ ピアノ伴奏 工藤重子さん

それぞれの歌の時代背景、作詞家・作曲家・歌手のこと。

丁寧に掘り下げた解説の後、鑑賞、そして合唱。

歌を深く理解したことで、寄り添って鑑賞し、  
平和を願いながらこころを込めて歌うことができました。

最後はあすなろ生、菅原千恵子さんの改作による替え歌

「あすなろは今もかわらず」

そして郷土座間の市民の歌

「WE LOVE ZAMA！」の大合唱！

あすなろ生の一体感に包まれてのしめくくりでした。



## 【感想】

背景を理解すると、歌が何倍にも響いてきます

歌を味わうとは、こういうことなのだと気づかせてくれる講座でした。

健康増進につながるという「歌」。こころもやわらかくしてくれたような気がしました。